

しんねんど はじ こんねんど はくぶつかん じゅうじつ てんじ たの きかく よてい みなさま らいかん
新年度が始まりました。今年度も博物館では、充実した展示や楽しい企画を予定しています。皆様のご来館を
こころ ま せつさんかいさいちゅう
心よりお待ちしております。

絶賛開催中!!

春の特別展 化石のふしぎ展

～石になった生き物のヒミツ～

令和8年3月20日(金・祝)～令和8年5月10日(日)

特別展 展示室の様子



せかいはつこうかい
世界初公開の
かせき
化石もあるよ!



きせきてき ほそんじょうたい よ かせき みちか かせき さまざま ひょうほん
奇跡的に保存状態の良い化石から身近な化石まで様々な標本
だいしゅうごう かせきちようさ ようす さいきん けんきゆうせいか しょうかい
が大集合。化石調査の様子や最近の研究成果も紹介し化石が
ほそん しく ぜつめつせいぶつ い せま
保存される仕組みや絶滅生物の生きざまに迫ります。

企画展「福岡県指定文化財指定記念 平野家文書」

会期 令和8年4月25日(土)～6月21日(日)

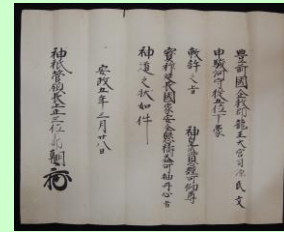
※ 常設展入場券で観覧できます

わたつみじんじや こくらみなみくよしだ ぐうじ いえ つた こもんじよ ひらの けもんじよ てん あら
令和8年3月27日、綿都美神社(小倉南区吉田)の宮司の家に伝わる古文書・平野家文書136点が、新
ふくおかけんしていぶんかざい こもんじよ よしだ きたきゅうしゅう れきし つた きちよう ぶんか
たに福岡県指定文化財となりました。この古文書は、吉田や北九州の歴史を伝える、たいへん貴重な文化
ざい ほんきかくてん てん せいせん ひらの けもんじよ とくちよう み ちいき れきし
財です。本企画展では、うち50点を精選して、平野家文書の特徴や見どころ、そこからわかる地域の歴史を
しょうかい
紹介します。



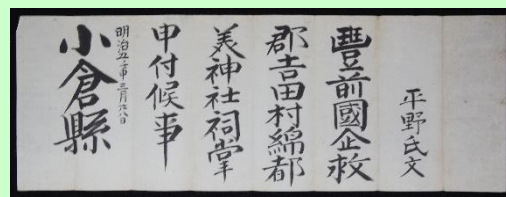
むとうすつかんきんしんじょう
武藤崇観寄進状

げんとく (元徳2年(1330)10月11日)



しんとうさいきしじょう
神道裁許状

あんせい (安政5年(1858)3月28日)



じれい
辞令

めいじ (明治5年(1872)3月28日)



ミュージアムのタネ



きょうかしよ の い も の 教科書に載っていない生き物

ちきゅうじょう たよう せいぶつ せいそく ちゅうがっこうりか きょうかしよ ひら せいぶつ
地球上には多様な生物が生息しています。中学校理科の教科書を開いてみると、「生物
せきつどうぶつ むせきつどうぶつ くべつ せきつどうぶつ ほにゆうるい ちようるい はちゆうるい りようせいりい ぎよるい
は脊椎動物と無脊椎動物に区別され、脊椎動物は哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類のグ
ループに分けられる。」とあります。一方、無脊椎動物は、具体的なグループのリストはなく
「脊椎動物に比べてはるかに多くの種類があり…(後略)」と述べられるに留まっています。
せきつどうぶつ くら おお しゆるい こうりやく の とど
「脊椎動物に比べてはるかに多くの種類があり…(後略)」と述べられるに留まっています。
もう少し細かく教科書を読んでみると、無脊椎動物の代表的な生き物として、節足動物が挙
げられており、節足動物には甲殻類(ザリガニやエビ、カニ)や昆虫類(バッタやチョウ)、ク
モ類(クモやサソリ)、ムカデ類、ヤスデ類が挙げられています。また軟体動物も紹介されてい
るい るい るい あ なんたいどうぶつ しょうかい
て、二枚貝や巻貝、イカ・タコの記述があります。しかし無脊椎動物には節足動物と軟体動物
いがい
以外にもたくさんのグループが含まれます。例えば、岩場の影にひっそりと住んでいるホヤ
びさくどうぶつ かいめんどうぶつ いんぎんチャク(刺胞動物)、優雅に海をただようヒラム
シ(扁形動物)やクラゲ(有櫛動物)、海の掃除屋ヒトデ(棘皮動物)、干潟を掘ると見つかる
ギボシムシ(半索動物)など、まだまだたくさんのグループがありますが、スペースが足りなく
なってきたのでこのあたりで止めておきます。もりや川、うみに じっさい て い も の さが
教科書に載っていない生き物に出会うことができます。



なかま
イソギンチャクの仲間
(刺胞動物)



なかま
ヒラムシの仲間
(扁形動物)



マンジュウボヤ
(尾索動物)

しぜんしかがくげいん たけした ふみお
自然史課学芸員 竹下 文雄